

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	令和5年度 第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	令和5年5月8日(月) 10:00~11:00
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会 長 山田壽久</p> <p>副 会 長 栗田隆生</p> <p>委 員 江崎晴城、渡邊博文、杉浦 衛、秋田弘武、佐野雅基、大畑直己、佐野暁義  紅林 豊、古川賢吾、仲田和好、青地春雄、鈴木健夫、高井賢一、鈴木寿幸  渡邊芳隆、市川真也(代理)、曾根正敏、阿井 誠、中村浩章、田口敏行  水野 明</p> <p>委任状出席 飯田敏之、大畑範芳、柳川利明、寺島雅之、曾根克則、秋山 弘</p> <p>オブザーバー 海野智之、池谷昌利</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進課 課長 清水康行  主幹兼推進担当係長 疋田幹佳  主任主事 関 智弘</p> <p>商業振興課 課長 大石好美</p> <p>藤枝商工会議所 中小企業相談所 次長 小野和紀  経営支援課第二係 係長 八木明日香  主事 神戸勇輝、齋藤友紀</p>
内 容	<p>◆協議事項</p> <p>&lt;議題&gt;</p> <p>(1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画(第3期)の最終フォローアップ報告について</p> <p>&lt;報告&gt;</p> <p>(1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画(第4期)の概要について</p> <p>(2) 駅周辺イベントの開催状況等について</p> <p>◆情報交換</p>
会議の経過	<p>八木係長の司会により開会</p> <p>冒頭、山田会長より挨拶があり、続いて所属団体の役員改選等により新たに委員・オブザーバーに就任した方の紹介を行った。</p> <p>§新たに就任した委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤枝商工会議所商業振興委員会 委員長 佐野雅基</li> <li>・藤枝市都市建設部 部長 佐野暁義</li> <li>・青島第六自治会 会長 渡邊芳隆</li> <li>・一般社団法人 志太建築士会 会長 中村浩章</li> <li>・青木まちづくり委員会 会長 柳川利明</li> <li>・藤枝警察署 署長 坂田幸隆</li> </ul>

- ・静岡県交通基盤部 都市局 都市計画課 課長 海野智之
- ・静岡県経済産業部商工業局 地域産業課 課長 池谷昌利

◆協議事項

(1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画(第3期)の最終フォローアップ報告について

中心市街地活性化推進課 疋田主幹 が資料1に沿って説明。

計画期間が終了した第3期計画(平成30年4月～令和5年3月)の最終フォローアップ報告の趣旨、内閣府への報告までの流れを説明。

103事業のうち、完了・実施中の事業が95事業、未実施が8事業。4つの目標とそれぞれの指標があるが、計画期間の途中から拡大した新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値に対し、居住人口の増加を除き基準値を下回る結果となった。しかし、市民アンケート調査では、中心市街地全体の満足度における「満足」の割合は増加傾向にあり、市民意識が改善していることから、活性化状況は「若干活性化」とした。

<対基準値との分析>

目標指標	単位	基準値	最新値	目標値
居住人口[社会増]	人/年	93 (H25～H28の平均)	124 (H30～R4の平均)	103 (H30～R4の平均)
空き店舗数	件	49 (H28)	55 (R4)	36 (R4)
昼間の歩行者通行量	人/日	7,356 (H29)	6,230 (R4)	8,020 (R4)
イベント来場者数	人/年	53,319 (H28)	20,299 (R4)	62,000 (R4)

○居住人口[社会増]

民間マンションの供給やソフト事業の効果により、計画期間内で合計622人の社会増を記録。今後も、再開発事業による住宅供給や商業施設の設置とともに、移住定住施策を継続実施し、居住人口[社会増]の増加を目指す。

○空き店舗数

「空き店舗等開業支援事業」を活用して、計画期間内で合計51件が新規出店したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規出店を上回るペースで飲食店を中心に閉店する店舗が増加。しかし、トライアルスペース kokokara にて、試行的に経営体験を行い、その後、開業へつなげる仕組みづくりが整いつつある。

○昼間の歩行者通行量

民間マンションの竣工やしずてつストア藤枝駅南店のオープンにより、昼間の歩行者通行量は令和元年度まで増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度から減少に転じた。

○イベント来場者数

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりイベントが中止になり、人々の心持ち、休日の過ごし方が変化した。令和4年度については、駅南通りや駅前通りを活用したイベントも再開したが、イベント来場者数20,299人/年にとどまった。

説明終了後、山田会長が最終フォローアップ報告についての意見を求めた。

・藤枝駅前商店街振興組合 理事長 古川委員

イベント来場者数について、令和4年度は目標値の半分に満たないが、この原因は何か。また、今年度のイベントの予定はどうか。駅前商店街については、令和4年度に計画していた事業はすべて実施した。今年度も納涼市を計画しており、まちの活性化につなげていきたい。藤枝 MYFC のホームゲームの際にはおもてなし企画を実施している。各所連携協力をお願いしたい。

⇒正田主幹が回答

令和4年度はイベントを再開したが、思ったほど来場者数が伸びなかった。県のガイドラインにより、大規模なイベント開催に制約が課せられ、規模が縮小したことで1回当たりの人数が少なくなった。また、アルコールの制限もあり、出店を取りやめた店もあった。令和5年度については、駅前通りや駅南通りなど広い会場でのイベント開催を増やし、年間4回を予定。商店街や藤枝 MYFC を絡めたイベントは市としても連携していきたい。

・藤枝ミキネ・ウェスト管理組合 理事長 鈴木委員

経済活動が再開してきているにも関わらず、中心市街地の昼間の通行量は減少したままと感じる。長期化した新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、どう分析しているか。一方で、夜間は飲み会等で人が出てきている印象もあるので、人々が外出し回遊するイベント等開催をお願いしたい。

⇒正田主幹が回答

昼間の歩行者通行量は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、感染状況が収まってきても歩行者通行量は回復していない。市民への意識アンケート調査によると、コロナ禍により外出の機会が減っているとの回答が約75%にも上る。人々の外出したくなるような仕掛けづくりが必要と考えている。

・(株)まちづくり藤枝 代表取締役 栗田 副会長

103事業のうち、完了・実施中の事業が95事業と進捗率がよい。特に、長い間の懸案事項だった田沼街道踏切の拡幅工事が昨年度末に終了したことは非常に有意義で、駅周辺で活動する人にとって利便性が高く、移動しやすくなった。未実施となった8事業は、主に道路の無電柱化であるが、今後の予定について教えてもらいたい。

⇒正田主幹が回答。

駅周辺無電柱化について、県道部分は昨年度に協議会を設立し、市道部分も今年度中に計画を策定予定。都市景観の向上、安全で快適な歩行空間の早期形成を図りたいと考えている。

⇒ 原案通り承認。

#### ◆報告事項

##### (1) 藤枝市中心市街地活性化基本計画（第4期）の概要について

中心市街地活性化推進課 関主任主事 が「別紙1」に沿って説明。

令和5年3月17日付けで内閣総理大臣より認定された第4期計画（令和5年度～令和9年度）の主な内容について説明。

##### (2) 駅周辺イベントの開催状況等について

中心市街地活性化推進課 関主任主事 が「別紙2」に沿って今年度の駅周辺で開催されるイベント（LOVE LOCAL FUJIEDA 事業）について説明。駅前通りや駅南通りなど広い会場でのイベントを、年間で4回開催する予定。

報告事項（1）～（4）を説明終了後、山田会長より委員に質問・意見を求めた。

#### ・藤枝市産業振興部長 紅林委員

10月29日は藤枝市主催でフードスマイルフェスティバルを4年ぶりに開催する。藤枝市民体育館と藤枝市武道館を会場とし、約1万人が来場する大きなイベントであるので、駅周辺の商店街と連携して中心市街地の賑わいに寄与したい。

#### ◆情報交換

#### ・静岡産業大学情報学部 教授 田口委員

イベントについては、告知の仕方がポイントで、特に SNS などデジタル活用のノウハウが重要。こういった告知を行い、来場者数がどのくらいかなど、自治体の分析力を発揮し、細かく分析していく必要がある。また、藤枝市の特性は何か、それを藤枝らしさにどう活かしていくのか、検討するとよい。イベント名についてもテーマ性を設定し、その意図を伝えることで、イベントの文化力が上がる。街なかシェアサイクルも SDGs や持続可能性に貢献すると言っているが、どう SDGs や持続可能性につながっているのか、事業の実態とコンセプトのつながりを意識することが必要。色々と言ったが、藤枝市は素晴らしい自治体であり、住んでいる喜びを感じている。コロナ禍が明けた感じがするが、大学を見ているとダメージを引きずっている印象があるので、今後も継続してサポートする体制が必要。ゴールデンウィーク期間中は、外国人が多い印象もあったので、今後は外国人を取り込むまちづくりも考えてみるとよい。リカレントという時代になってきており、静岡産業大学でも藤枝市民大学を開催しており、リカレント教育の考え方が根付いてきたと感じる。様々な講座が開催されているので、受講してみたい。

- ・藤枝商工会議所商業振興委員会 委員長 佐野委員  
ゴールデンウィークに外出したが、賑わいが戻ってきていると感じた。駅周辺イベントの説明があったが、旧市街地や駅南など他のエリアにどうつなげていけるか。藤枝市には色々な魅力があるが、それぞれの発信力が強くないので、藤枝市全体でその魅力を発信していくことが大事。商業振興委員会でも藤枝市の賑わい創出について考えていきたい。
  
- ・駅南地区活性化連絡会議 座長 仲田委員  
藤枝 MYFC が大きなインパクトを与えており、市の活性化が良い方向に進んでいる。藤枝市の宿泊料助成や商工会議所の協力もあり、ホームゲーム来場者数や宿泊者数、交通機関の利用など、サッカーによる影響が出ているので、それらをデータとしてまとめて欲しい。
  
- ・藤枝市 副市長 大畑委員  
4期計画が認定されたが、策定したから終わりではない。4つの目標達成を目指しつつ、市内を盛り上げていきたい。  
今年度は、(株)まちづくり藤枝を中心に、商店街や民間企業の協力を得ながら、多くのイベントを開催する。延期されていた藤枝大祭りも開催予定で、多くの人々が来藤する機会が多い。令和6年には市制70周年・サッカーのまち100周年となり、サッカーのまちを盛り上げるなど、藤枝のまちの魅力を伝えていきたいと考えている。  
市営藤枝駅前駐車場の跡地については、島田掛川信用金庫と売買契約を締結し、令和7年度には店舗や駐車場が完成。市民が集う場所も設置される予定。  
また、中部運輸局管内で初めて自家用有償旅客運送の事務権限移譲を受けた。高齢化社会や2024年問題により、市民の足の確保も懸念されるが、これにより地域住民等が主体となった移動手段の確保が検討しやすくなり、誰もが安心して移動できる地域の実現が期待される。  
空き家や空き店舗等については、これまでと逆転の発想により、空き店舗等を求めている人の情報をホームページに上げる取組を実施しており、貸したい人とのマッチングを推進し、空き店舗の解消と駅周辺の活性化を図っていく。  
本協議会で意見をもらいながら、市の発展に努めていくので、引き続きのご協力をお願いしたい。

以上。